

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	再発時高齢の肺癌患者における再発後経過、予後および予後因子の検討
当院の研究責任者 (所属・職位)	呼吸器外科学 講師 三窪 将史
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	日本は世界でも最も社会の高齢化が進んだ国です。高い高齢化率は肺癌の患者でも見られ、肺癌の治療を受ける高齢の患者さんは少なくありません。肺癌発見時に高齢の場合でも、積極的な治療を行うことで予後の改善を期待できることが知られています。しかし、肺癌再発時に高齢の場合において、治療選択などについては明確な指針はありません。再発時に高齢の肺癌再発患者の治療選択および予後を知ることは、日本のみならず今後他の国々も迎えるであろう高齢化社会において、肺癌再発後の治療を選択するうえでも有用であると考えました。手術により完全切除を実施された患者において、再発例を調べ、再発時に75歳以上の患者において、どのような治療が選択されているか、またその予後因子を調べることを目的としております。
調査データ 該当期間	1990年1月1日から2025年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
対象となる患者さん	2000年1月1日から2018年12月31日までの期間に北里大学病院呼吸器外科において非小細胞肺癌と診断され外科的切除を受けた患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 1990年1月1日から2025年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません 本研究の遂行のための費用は北里大学医学部呼吸器外科学研究費を使用する。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されております。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場

合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:呼吸器外科学 講師
担当者:三窪将史 (ミクボマサシ)
電 話:042-778-9112

備 考